

各 位

株式会社 SBI 新生銀行

南阿蘇湯の谷地熱発電所の商業運転開始に伴うタームローン化について ～地熱発電を通じた地域金融機関との地方創生に係る取り組み～

当行は、株式会社肥後銀行(熊本県熊本市、代表取締役頭取 笠原 慶久、以下「肥後銀行」とともに、株式会社南阿蘇湯の谷地熱(熊本県阿蘇郡南阿蘇村、代表取締役 山本 進、以下「南阿蘇湯の谷地熱」)に向けて、総額 32.57 億円のタームローンを 4 月 28 日に実行いたしました。

南阿蘇湯の谷地熱は、株式会社フォーカス、株式会社レノバおよびデナジーサーマル株式会社がスポンサーとなり、熊本県阿蘇郡南阿蘇村で出力 2MW のフラッシュ型地熱発電所の建設を進めてきました。当行は、当該建設資金を資金使途として 2021 年 6 月に新生グリーンローンとしてプロジェクトファイナンスを組成しております。その後、地元金融機関である肥後銀行が参画し、両行で地域活性化と脱炭素社会の実現に寄与すべく、本プロジェクトを支援してまいりました。

今般のローンは、南阿蘇湯の谷地熱発電所が 2023 年 3 月 3 日に商業運転を開始したことに伴い、建設に合わせて段階的に実行してきたブリッジローンを統合し、長期に亘るタームローンに移行したものです。



発電を行う南阿蘇湯の谷地熱発電所

当行グループは、中期経営計画「SBI 新生銀行グループの中期ビジョン」の実現に向けて、「再生可能エネルギー領域への更なるコミット、地方創生案件含むサステナブルファイナンスの提供」、「SBI グループのネットワークとソリューションを活用した地域金融機関との連携強化」を法人ビジネスの主要な個別戦略として掲げております。当行グループは、引き続き、これまでに再生可能エネルギー分野で培ったノウハウやネットワークを活かし、地域および自治体、地域金融機関と協働して、地熱、小水力、バイオマスといった地域共生型電源への投融資を行い、地方創生を強力に推進してまいります。

【南阿蘇湯の谷地熱の概要】

名 称： 株式会社南阿蘇湯の谷地熱
代 表 者： 代表取締役 山本 進
設 立： 2013年5月13日
所 在 地： 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字長野字湯ノ谷 2471 番地 1
出 資 総 額： 1 億円
株 主： 株式会社フォーカス(60%)
株式会社レノバ(30%)
デナジーサーマル株式会社(10%)

【ローンの概要】

借 入 人： 株式会社南阿蘇湯の谷地熱
実 行 金 額： 32.57 億円
契 約 締 結 日： 2021年6月18日(タームローンへの移行日:2023年4月28日)
貸 付 人： 株式会社 SBI 新生銀行、株式会社肥後銀行
エ ー ジェ ント： 株式会社 SBI 新生銀行

以 上

お問い合わせ先
SBI 新生銀行 グループ IR・広報部
報道機関のみなさま: SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp
株主・投資家のみなさま: SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp